

※令和元年7月26日に
退職した場合の記入例

履 歴 書

氏 名 共 清 太 郎

昭和14年 1月 1日生

議員としての就職又は退職の区別		在職期間	都道府県名
就 職 年 月 日	退 職 年 月 日		
平成7年4月30日	平成11年4月29日	4年 1月	〇〇県
平成15年4月30日	令和元年7月26日	16年 4月	〇〇県
		年 月	
過去において、退職一時金を受給した場合は、その一時金の基礎となった在職期間		自 平成 7 年 5 月 至 平成 11 年 4 月	4 年間

月の初日(1日)に就職した場合はその日から、月の2日以後に就職した場合は翌月から起算し、退職した日の属する月まで記入します。

上記のとおり相違ありません。

令和 元年 7 月 27 日

●請求者氏名

本人が死亡した場合は空欄で提出してください。

氏 名 共 清 太 郎 ㊟

上記のとおり相違ないことを認める。

令和 元年 7 月 29 日

選挙等により議長不在の場合は、議長決定後、議長の証明で提出してください。

〇〇県 議会議長 共 清 一 郎 ㊟

(注 意)

- 本人が死亡した場合には、議長名で作成のこと。
- 退職一時金を受けた者は、その基礎となった在職期間を記入して下さい。